



代理店外部委託先チェックシート兼報告書

～ 手引き（2026年改定版） ～

SOMPOひまわり生命保険株式会社

報告書の入力にあたって

✓ 基本ルール

- 顧客情報の取扱いを含む業務を外部委託する場合は、あらかじめ当社への報告が必要です。
- 確認事項は全て「委託先」についての評価です。
- 確認項目で「✕」がある場合、業務を委託することができないことがあります。
- 報告対象外（文書廃棄、運送等、所定の条件を満たすもの）の委託契約もあります。

⚠ 【ご注意】SNSの利用は禁止です！

個人用LINE、Facebook、X（旧Twitter）などのSNS利用は禁止されています。

- 誤送信時に情報が拡散し、広範囲な漏えいに繋がる恐れがあります。
- サーバー所在を含めセキュリティ水準が不明確で、適切な管理が困難なためです。

入力要領

【基本情報】の入力

代理店情報および委託先の基本情報を入力します。

- **代理店情報**： 申請日、代理店名、代表者名、代理店コード、ご担当者名等
- **委託先情報**： 委託先名、所在地、代表者名
- **委託期間**： 自動更新の場合は自動更新にチェックしてください
終期未定の場合は終期を空欄としてください
- **委託業務内容**： 利用するサービス名やシステム名を記入。
- クラウドサービスの該非、生成AIサービスの利用有無を選択。
クラウドサービスの場合、クラウドサービス名を入力

【確認項目】の入力

委託先に対する評価基準（全47項目）を回答します。

- 回答欄に「○」「×」を記載します（対象外は「－」）。
- 「×」の場合は、代替策や改善見込等の詳細を「備考」欄に必ず記載してください。
- クラウド利用、海外移転、生成AI利用がある場合のみ回答する専用セクションが設けられています。

新チェックシートの構成（2026年版）

デジタル化やAIの普及に伴い、確認項目が4つの区分（全47項目）に再編されました。

1. 共通（No.1～17）

すべての外部委託で確認が必須となる基本項目です。業務遂行能力、経営の健全性、各種安全管理措置（組織・人・物理・技術）、および再委託のルールが含まれます。

3. 海外移転（No.27～34）

データ保存先やアクセス元が海外にある場合の確認項目です。個人情報保護法上の同等水準国の確認や、相当措置の整備状況をチェックします。

2. クラウド利用（No.18～26）

クラウドサービスを利用する場合の追加項目です。有償サービスの利用、二段階認証等のセキュリティ対策、データ消失時の保証などを確認しています。

4. 生成AI利用（No.35～47）

生成AIサービスを利用する場合の追加項目です。入力データの学習利用禁止（クローズド環境）、ハルシネーション対策（ファクトチェック）などを規定しています。

✓ 1. 共通：業務遂行能力と健全性（No.1～5）

No.1 募集業務の委託禁止

委託業務が保険募集業務に該当しないことが絶対条件です。

○: 募集業務に非該当である

✕: 募集業務に該当する（外部委託不可）

No.3-4 過去の事故・障害歴

直近1年間で漏えい、システム障害、不祥事等がないこと。

○: 発生していない

No3が✕の場合:No4の質問に回答してください。

真因分析と再発防止策が整備されていない場合は外部委託不可となります。

No.2 業務遂行能力・損害負担力

同規模の受託実績があり、損害賠償力を有していることを確認します。

○: 賠償力・実績を有している

No.5 反社会的勢力の排除

委託先が反社会的勢力と関係がないこと。

✕: 関係がある場合は即時・例外なく外部委託不可

1. 共通：安全管理措置と契約等（No.6～17）

規程整備と安全管理 (No.6-13)

- **規程整備:** 個人情報の取扱規程、プライバシーポリシーが公表されていること。
- **第三者認証:** ISMS、Pマーク、SOC2等の取得有無を回答ください。
- **安全管理措置:** 組織的・人的・物理的・技術的安全管理措置が「別紙1」の要件を満たしていることを確認してください。
- **✕不可条件:**
 - No.8 委託先が保有する個人関連情報との突合等
 - No.12 利用禁止ソフトウェアの規制有無

再委託・契約・終了時 (No.14-17)

- **再委託ルール:** 再委託時は代理店に事前承認を得ること。再委託先にも安全管理措置を求めること。×の場合は備考欄に代替策を記入してください。
- **契約終了時:** データ返却・廃棄・消去の取り決めがあること。
- **契約書:** ひまわり生命指定の「標準契約書」の必須項目を満たした業務委託契約/利用規約であること。
- **海外移転:** 回答が✕の場合は「3. 海外移転」の回答となります。



2. クラウドサービス利用に関する確認（No.18～26）

No.18 有償サービスの利用

無償サービスはセキュリティ水準が不明確な場合が多いため、原則として有償のクラウドサービスを利用してください。

×の場合は外部委託不可

No.19-20 サポート・情報開示・サービスレベル

サポート・情報開示姿勢・サービスレベルについて確認してください。

No.21 セキュリティ対策

二段階認証/二要素認証、操作ログ取得、データ保護（暗号化・バックアップ）、社外アクセス遮断機能が提供・実施されていることを確認してください。

No.22 サービス・利用終了時の条件

システム上に残るデータが確実に消去され、第三者による悪用が起こらない対策など利用終了時の対策が実施されることを確認してください。

No.23 法的リスク

×の場合は備考欄に実態を記入してください。

No.24-25 データの取扱い制御

事業者が利用者のデータを取り扱わないこと、および意図せず他人にデータが公開される設定がないことを確認します。

万が一公開設定があるフォルダ等の使用は不可とします。

No.26 リスク管理・コンプライアンス

再委託の有無、有り場合は管理プロセスについて回答してください。

3. 顧客情報の海外移転に関する確認（No.27～34）

委託先や再委託先が外国にある、またはデータの保存先が外国である場合に回答が必須となる項目です。

① 所在・アクセスの特定

- No.27-28: 委託先、再委託先の所在国およびデータ保存先の国を特定し記載します。
- No.29: 外国から国内データへアクセス可能な場合、その権限者と所在国を記載します。

② 同等水準国の判定

- No.30: 特定された国が「我が国と同等の水準にある国（EU、英国等）」かを確認します。



- No.31: 委託先がCBPR等の国際的な枠組みに基づく認証を取得しているか確認します。



③ 相当措置の整備状況

②が満たせない場合（No.32-34）、以下の措置が必須です。

- 個人情報取扱事業者と同等の措置を継続的に講ずる体制の整備
- 本人への適切な情報提供体制
- 支障が生じた際のデータ提供停止措置
- ※1つでも×の場合は外部委託不可

4. 生成AIサービス利用：技術的要件（No.35～39）

生成AIサービスを利用する場合、情報の漏えいを防ぐためのシステム仕様が厳格に問われます。

No.35 AI学習利用の禁止（クローズド環境）

入力した顧客情報や機密情報が、AIの学習に利用されない「クローズド環境（専用環境）」であることが必須です。

×の場合は外部委託不可

No.36-37 データの非保存・確実な削除

入力情報や出力結果がサービス提供者側に保存されない設定であり、契約終了時に完全に削除されることが保証されている必要があります。

×の場合は外部委託不可

No.38-39 入力情報の制限・要配慮個人情報の禁止

個人情報は利用目的の達成に必要な範囲内でのみ入力可能です。要配慮個人情報はいかなる場合も入力禁止です。

×の場合は外部委託不可

4. 生成AIサービス利用：契約・法務、ガバナンス、出力結果（No.40～47）

契約・法務 (No.40-41)

- 契約・法務に関する要件を確認し、備考欄に確認資料名等を入力してください。

社内体制・ガバナンス (No.42-44)

- **ガイドラインの策定:** 生成AI利用に関する代理店内のガイドラインを定め、全従業員に周知すること。
- **教育・研修:** リスクに関する教育を定期的 to 実施し、リテラシーを維持・向上させること。
- **責任者の設置:** 利用状況を定期的にモニタリングする責任者と体制を整備すること。
- ※未整備の場合は弊社指定の「代理店顧客情報取扱マニュアル」に準じたルール設定等の対応が必要です。

出力結果の取扱い (No.45-47)

- **ハルシネーションの理解:** AIの出力には誤った情報や偏った情報が含まれるリスクを理解していること。
- **ファクトチェックの徹底:** 顧客への説明等に利用する際は、必ず人間の目で事実確認を行うこと。
- **権利侵害の確認:** 出力物が第三者の著作権や商標権を侵害していないか確認する手順を設けること。



【別紙】 各種安全管理措置と業務委託契約書

別紙1：各種安全管理措置

チェックシートNo.9-13で求められる基準です。

記載の基準をご確認のうえ回答してください。

- **組織的:** 管理責任者の設置、管理台帳の整備、漏えい対応体制。
 - **人的:** 従業員との非開示契約、権限設定、定期教育。
 - **物理的:** 端末の限定、持ち出し禁止、入退室管理。
 - **技術的:** アクセスログ取得、不正検知、防御対策。
-
- **【フロンティアAIへの強化策】**
システムの特定、未対応パッチの迅速な適用、有事対応態勢(BCP)の整備等

別紙2：業務委託契約の必須項目

チェックシートNo.16で確認する契約書の条件です。

- 委託業務の内容・処理体制等の明確化
- 機密保持義務（目的外利用の禁止、返還・廃棄措置）
- 再委託の制限（禁止、または事前承認と責任連帯）
- 緊急時・不祥事件発生時の報告義務と対応
- 反社会的勢力の排除（確約と即時解除権）
- 損害賠償・契約の解除条件・合意管轄